

2007 年度 数論入門に関する注意

1. 参考文献など :

- 参考書として、

楫 元 著 「工科系のための初等整数論入門」 (培風館、ISBN4-563-01485-0)

をあげておきます。現在、出版社に在庫がないようですので教科書として指定はしませんが、この本の内容にかなり依存した講義をするかと思えます。良い本ですので、できれば入手されることをお勧めします。

- 講義ノートは後述のホームページに pdf ファイルの形で置く予定です。講義ノートの第 1 章に、これからの講義で使う記号や語句についてまとめておきましたので、最初に目を通しておいてください。また、講義の中で定義されないうえにわからない記号があったときは、まず、そちらを参照してください。

2. ホームページ :

- 講義ノート、講義の進捗状況、配布物、レポート問題などは、ホームページ

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/mnishi/07NT/index.html>

に掲載します。このホームページは Firefox 2.0、Netscape 7.1、Internet Explorer 6.0 で動作確認しています。欠席した場合は、このページを見て各自で遅れを取り戻すようにしてください。また、配布物等を紛失した場合は、こちらからダウンロードしてください。自宅等でパソコンがない場合でも、弘前大学の学生は総合情報処理センターでのアカウント取得、インターネットの閲覧が可能です。

- 講義ノート、レポートの解説等、副次的な教材は、プリントアウトしたものを配らず、ホームページに載せることになると思います。もし、事情があってインターネットでこれらの教材を閲覧できない方がいらっしゃいましたら、個別に申し出てください。

- ホームページは、講義の便宜を考えて個人的に作成しているもので、大学の公式のものではありません。日程の正式な情報は大学の掲示ですので、必ずそちらも確認するようにしてください。ホームページの情報だけに従って生じた事態について責任を負いかねることもありますので注意してください。

3. 講義について :

- 初めからかなりガチガチに論理的な (つまり、詳しい数学の本のような) スタイルで講義をします。これは、

- a) 以後、数学関係の文献や講義に触れるときのために慣れておく。
- b) 論理的に簡潔にまとまるので、慣れるとわかりやすい… と思う。
- c) 数学の形式がどのようなものであるかを体験することを通して、数学的なものの見方を体験する。

ということを意図しているつもりです。

- 私の講義はかなり板書の量が多いです。これは、後からノートを見直したときに意味が通じるように、また、書くことを通じて、思考の過程を感覚的に身につけてもらうことを目指して文章を省略しないで書くようにしているからです。時間の都合により、板書の速度が速くなることもありますし、黒板が狭い場合、かなりの頻度で消すことになると思います。ノートをとりきれなかった場合は、ホームページに掲載した講義ノートを参照して、各自カバーしてください。

4. 成績：

- 以下に基づいて評価を行います。

a) 演習：講義している話題の区切りがついた時点で演習を行い、それによって出席を確認することとします。ですから、毎時間コンスタントに出席をとるとは限りません。演習では、自分は何がわかっていないかを確認することを心がけてください。説明を聴いてわかったつもりになっても、いざ、それを使ってみようとするとうまくいかないものです。この段階では、問題が完全に解けることは要求しませんが、白紙、もしくは、問題を写しただけなど、積極的に考えていると認められない場合には減点の対象になります。

b) レポート：学期中に2、3回程度レポートを提出していただきます。レポートは何を見ても、誰(☉西澤)に聞いても構いませんが、必ず、十分に理解した後、自分ひとりで纏めたものを提出してください。丸写しが見つかった場合は、写した方、写させた方の両方を未提出扱いとし、そのレポートはカウントしないこととします。

c) 試験：中間、期末の2回の試験を行う予定です。試験問題全体の6割程度は、レポート問題、あらかじめ配布する練習問題等の類題です。勉強の目安が立たない方は、まず、それらの復習から始めることをお奨めします。

最終的な成績は、試験の得点に演習、レポートの得点を加えた形にする予定です。試験の得点が基準を上回り、ほかに特に問題がない場合に、演習、レポートが未提出であることを理由に単位がとれないことはありません。

- 甚だしい私語や、携帯電話などは、講義を妨害する意図があるものとみなし、相応の処置をすることがありますので注意してください。

5. 質問など：

- 研究室は教育学部棟の2-49-1です。月曜の16:00 - 17:30をオフィス・アワーとしており、なるべく研究室にいますので、質問、相談等はこの時間が便利かと思います。それ以外の時間も私の都合が許す限りは質問、相談に応じますが、研究室にいなかったり、他の用事があったりすることもあるかと思います。確実に面会したいようでしたら、私の予定

http://homepage3.nifty.com/m_nishi/schedule.html

をご確認のうえ、前もって研究室にいらっしゃる時間を打ち合わせるようにしてください。連絡は、

mnishi@cc.hirosaki-u.ac.jp

まで、e-mailをお願いします。その際は、メールのsubject欄に[07NT]を必ず記入し、本文中に、学籍番号、氏名、数論入門の受講者であることを明記してください。発信者が不明確なときは返事を差し上げない場合があります。また、こちらからの承認があるとき以外、ファイルの添付は行わないでください。